

6. Off-campus Study Program

(がく がい は けん学外派遣プログラム)

6.1.1 Off-campus Study Program 一覧表

	FIRST (海外)	FIRST (国内)	SECOND
プログラムの 目的、特徴	・異文化理解・体験 ・海外の人々との交流	・日本文化理解 ・日本語実践活用 ・キャンパス外の人々との交流	・異文化理解・体験、国内・ 国際学生の協働
受講対象	1～2 セメスター生		1～3 セメスター生
申請条件	・「国内学生」もしくは「日本語基準」 または「日本語中上級」修得済み の国際学生 ・申請時に以下の単位数を修得して いること 2セメスター生：14 単位	・英語基準の国際学生 ・申請時に以下の単位数を修得して いること 2セメスター生：14 単位	・申請時に以下の単位数を修得して いること 2セメスター生：14 単位 3セメスター生：28 単位
実習時期	春セメスター (5日間)	秋セメスター (4日間)	夏セッション期間
募集期間	春	4月	4月
	秋	なし	9月～10月
実習地(国・地域) (過去例を含む)	台湾、韓国	九州	東南アジア
科目名 (集計分野) 単位数	・異文化フィールドワークⅠ (共通教養科目) 2 単位		・異文化フィールドワークⅡ (共通教養科目) 2 単位
成績評価	P(合格)/F(不合格)		通常評価 (A ⁺ 、A、B、C、/F)
単位授与セメスター	実習セメスター		実習セメスター
費用目安	7万円～8万円	3万円～4万円	13万円～15万円
登録上限単位数に 含む/含まない	含まない	含まない	含まない
再履修の可否	不可	不可	不可

※上記の内容は変更される場合があります。詳細は、各プログラムの募集要項にて確認してください。

※プログラムの参加決定後、全ての科目において、履修科目登録は大学が行います。

日本語イメージ	AP言語イメージ	EXPLORE	EXCEED
- 言語運用能力向上のための日本語集中学習 - キャンパス外の人々との交流	- 言語運用能力向上のための海外での集中的な言語学習 - 異文化理解・体験	- 英語運用能力向上のための海外での集中的な英語学習 - 異文化理解・体験	英語の集中学習により、英語必修コースを最短半年で修了
1～7セメスター生	1～7セメスター生	1～7セメスター生	1セメスター生
- 英語基準学生（日本語母語話者を除く） - 日本語中級以上修了あるいは免除された学生 - 日本語基準国際学生（日本語母語話者を除く） - コース毎に日本語力の申請要件あり	プログラムごとに申請要件あり	日本語基準スタンダードトラック	英語必修コースを「英語準中級」から開始する日本語基準学生
冬セッション期間	夏／冬セッション期間（3～5週間）	夏／冬セッション期間（3～5週間）	春セメスター 海外パートは夏セッション期間（4週間）
なし	4月	4月～6月	4月
11月	10月	10月～11月	なし
APU、別府地域	中国、韓国、ベトナム、インドネシア、タイ、メキシコ	アメリカ、ハワイ、アイルランド、カナダ、ニュージーランド等	シンガポール
特殊講義（言語教育科目）4単位	海外集中言語研修（言語教育科目）4単位	特殊講義（言語教育科目）2単位	- 英語中級A 4単位 - 英語中級B 2単位 - 特殊講義（言語教育科目）2単位
通常評価（A+、A、B、C、/F）	通常評価（A+、A、B、C、/F）	P（合格）/F（不合格）	通常評価（A+、A、B、C、/F）
実習セメスター	実習セメスター	実習セメスター	実習セメスター
1万円程度	20万円～45万円	30万円～50万円程度（渡航費別・プログラム、期間によって異なる）	40万円程度
含まない	含まない	含まない	含まない
異なるコースであれば可	異なるプログラムであれば可	不可	不可

※「プロジェクト研究」「ボランティア研究」は各8単位まで、「インターンシップ」「ビジネスインターンシップ」は合計14単位までは、卒業要件の「124単位」に含むことができますが、それぞれ上限を超えて修得した場合には、超過分は要卒集計外の単位としてみなされます。

	GCP (Global Communication Program)	SEND	日本語パートナーズ
プログラムの目的、特徴	・コミュニケーション力 ・多文化理解力の形成と強化	・高等学校／大学での教育インターンシップ ・日本語教育のサポートや、日本文化紹介アクティビティなどの実施	・現地に暮らす人たちの日本語や日本文化への興味を高め、理解を促進させる ・派遣先の国の言語や文化に対する理解を深める ・言語や文化背景の異なる相手とのコミュニケーション能力を高め、異文化に対する態度について考える
受講対象	派遣時に3～6セメスター生 (申請時は2～5セメスター生)	2～7セメスター生	・国際交流基金の条件に準ずる
申請条件	・日本語基準の国内・国際学生 ・派遣時に「英語中級A・B」を修得していること	・日本語を母語とする学生	
実習時期	春セメスター第2クオーター (2ヶ月間)	夏／冬セッション期間 (3～4週間程度)	翌年度の8月～2月(2021年度実績)
募集期間	春	なし	4月
	秋	11月～1月	10月
実習地(国・地域) (過去例を含む)	アメリカ(テキサス州)	タイ、ベトナム等	インドネシア
科目名 (集計分野) 単位数	・特殊講義(E)(共通教養科目) 8単位 ・ボランティア研究(E) (共通教養科目) 2単位 計10単位	・インターンシップ(J)(共通教養科目) 4単位	・特殊講義(言語教育科目) 16単位
成績評価	通常評価 (A+、A、B、C、/F)	通常評価(A+、A、B、C、/F)	P(合格)/F(不合格)
単位授与セメスター	実習セメスター	実習セメスターの次セメスター	実習セメスター
費用目安	50万円程度(渡航費は別途)	10万円～15万円	自己負担なし(国際交流基金からの補助あり)
登録上限単位数に 含む/含まない	含む	含まない	含まない
再履修の可否	不可	不可	不可

※上記の内容は変更される場合があります。詳細は、各プログラムの募集要項にて確認してください。

※プログラムの参加決定後、全ての科目において、履修科目登録は大学が行います。

サービスマーケティング	インターンシップ	ビジネスインターンシップ	APU グローバル リサーチプログラム
- 実践的な英語力の修得 - 企業・NGO・社会貢献活動の現場でのジョブシャドウイング - キャリアビジョンの明確化	- 就業体験 - キャリア形成	- キャリア形成 - ビジネス現場における実践的な経験 - 国際経営学部での専門学修を深める	- 現地調査手法の修得 - 調査計画策定
派遣開始時に2～7セメスター生 (申請時は1～6セメスター生)	派遣時に2～7セメスター生	- 国際経営学部所属の学生 - 派遣時に4～7セメスター生	派遣時に3～7セメスター生 (申請時は2～6セメスター生)
- 日本語基準学生 (優先的に派遣) - 派遣時に「英語中級A・B」を修得していること (TOEFL ITP® Test 460点程度)	APUと覚書を交わし、協定を結んだ企業・団体にて行う協定型インターンシップに申請していること	- 申請時の通算 GPA が 2.50 以上であること (2017年度カリキュラムの場合) - 必修専門教育科目 12 科目のうち、基礎数学または上級数学を含む 10 科目の単位を修得済みであること (2011年度カリキュラムの場合) - 数学を 1 科目および APM コア科目の 5 科目の単位を修得済みであること - その他、申請条件をすべて満たしていること	2～5名のグループで申請をすること
夏セッション～秋セメスター 第1クォーター(約3ヶ月)	夏／冬セッション期間 (数日～8週間程度)	夏セッション期間 (2週間程度)	夏または冬セッション
-	5月～6月頃	5月～6月頃	-
11月～1月	11月～12月頃	-	11月～1月
アメリカ(テキサス州)	日本、ベトナム等	日本	スウェーデン、ベトナム、 タイ、カンクン、台湾、韓国等
- 特殊講義 (言語教育科目) 4単位 - インターンシップ(E) (共通教養科目) 4単位	インターンシップ (共通教養科目) 2単位または4単位	ビジネスインターンシップ (APM専門教育科目) 2単位	2011年度カリキュラム生 フィールド・スタディ 2単位 (APS生:専門教育科目、 APM生:自由選択) 2017年度カリキュラム生 APSフィールド・スタディ 2単位 (APS生:専門教育科目、 APM生:他学部科目)
- 特殊講義 P(合格)/F(不合格) - インターンシップ(E)P(合格)/F(不合格)	P(合格)/F(不合格)	P(合格)/F(不合格)	通常評価 (A ⁺ 、A、B、C、/F)
実習終了セメスター	実習セメスターの次セメスター	実習セメスターの次セメスター	実習セメスター
110万円程度 (渡航費は別途)	インターンシップ先によって異なる	インターンシップ先によって異なる	3万円～10万円程度 (渡航費は別途)
含まない	含まない	含まない	含まない
不可	異なるプログラムであれば可	異なるプログラムであれば可	不可

※「プロジェクト研究」「ボランティア研究」は各8単位まで、「インターンシップ」「ビジネスインターンシップ」は合計14単位までは、卒業要件の「124単位」に含むことができますが、それぞれ上限を超えて修得した場合には、超過分は要卒業計外の単位としてみなされます。

フィールド・スタディ		プロジェクト研究
プログラムの目的、特徴	- 専門知識の実践 - 現地調査・研究活動	- 専門知識の実践 - 調査・分析 - ゼミ連携型実践学習
受講対象	3～7セメスター生	5～7セメスター生
申請条件	- 英語開講プログラムの場合、「英語中級A・B」を修得していること（日本語基準学生のみ） - プログラムごとに申請要件あり	- 申請セメスターにプログラム担当教員の3・4回生演習科目を履修中であり、次セメスターも同演習を継続する意思があること - プログラムごとに申請要件あり
実習時期	夏／冬セッション期間 (数日～4週間)	夏／冬セッション期間 (数日～3週間)
募集期間	春 4月	4月
	秋 10月	10月
実習地(国・地域) (過去例を含む)	イタリア、スロバキア、タイ、日本等	日本、中国、韓国等
科目名 (集計分野) 単位数	2011年度カリキュラム生 フィールド・スタディ 2または4単位 (自学部開講：専門教育科目、他学部開講：自由選択) 2017年度カリキュラム生 APSフィールド・スタディ 2または4単位 環境・開発 フィールド・スタディ 2または4単位 観光学 フィールド・スタディ 2または4単位 国際関係 フィールド・スタディ 2または4単位 文化・社会・メディア フィールド・スタディ 2または4単位 APMフィールド・スタディ 2または4単位 (自学部開講：専門教育科目、他学部開講：他学部科目)	2011年度カリキュラム生 プロジェクト研究 2または4単位 (自学部開講：専門教育科目、他学部開講：自由選択) 2017年度カリキュラム生 プロジェクト研究 2または4単位 (自学部開講：専門教育科目、他学部開講：他学部科目)
成績評価	通常評価 (A*、A、B、C、/F)	通常評価 (A*、A、B、C、/F)
単位授与セメスター	実習セメスター (プログラムによって異なる)	実習セメスター (プログラムによって異なる)
費用目安	1万円～40万円程度	3万円～10万円
登録上限単位数に 含む/含まない	含まない	含まない
再履修の可否	異なるプログラムであれば可	異なるプログラムであれば可

※「プロジェクト研究」「ボランティア研究」は各8単位まで、「インターンシップ」「ビジネスインターンシップ」は合計14単位までは、卒業要件の「124単位」に含むことができますが、それぞれ上限を超えて修得した場合には、超過分は要卒集計外の単位としてみなされます。

6.2 交換留学（海外）

交換留学とは、APUと学生交換協定を締結している大学へ留学する制度です。交換留学の目的は単に言語運用能力を伸ばすことではありません。今まで取り組んできた学習・研究をより発展させるため、他大学で専門科目等を受講し、その分野についての知識をより広く身につけていくところに真の目的があります。

ここでは、大まかな海外交換留学の仕組みと流れを説明しています。詳しくは、Off-campus Study Programウェブサイト内にある海外交換留学プログラムのページを確認してください。

＜留学する場合の学籍状態・学費・単位認定の有無＞

	交換留学 ダブルディグリープログラム	個別合意に基づく留学	休学による海外渡航
学籍状態	「留学」	「留学」	「休学」
学費など	APU授業料	APU授業料 + 留学先学費	審査・事務手数料15,000円 APU在籍料5,000円／ 1セメスター＋渡航先学費
単位認定	する	する	しない

こうかんりゅうがく じょうけん し かく など
 <交換留学の条件・資格等>

プログラムの目的、特徴	海外協定校で専門知識を深める。	
受講対象	4 ～ 7 セメスター生	
留学期間	1 セメスターもしくは 1 年間（回生をまたいても可。例：4 ～ 5 セメスター）	
出願資格	セメスター	2 ～ 5 セメスター生
	成績	当該 GPA2.00 以上 通算 GPA 基準は留学先大学の条件に加え、2.00 以上
	言語	留学先大学が定める英語能力要件を満たさなければならない。
	運用能力	必要な英語力は留学先大学によって異なるため、事前に希望の留学先大学の英語力を確認してください。 使用可能な英語能力スコア：IELTS TM 、TOEFL iBT [®] Test、ITP [®] Test など。 ※現地語で科目を履修する場合、英語能力スコアに加え、現地語の言語能力スコアの提出を求められることがある。
募集期間	原則として年 2 回、派遣の 1 年前に募集。 春派遣：一次募集 4 月中旬～ 5 月中旬、二次募集 6 月上旬～ 6 月下旬 秋派遣：一次募集 10 月中旬～ 11 月中旬、二次募集 12 月中旬～ 1 月上旬	
留学先	APU が学生交換協定を締結している海外協定大学	
留学時期	留学先の学年暦によって異なる。	
履修内容	留学先の大学で正課科目として開講される科目	
履修科目登録	学生が留学先にて科目登録する。	
成績評価	T（認定）	
単位認定時期	APU に復帰するセメスター	
滞在先	留学先大学寮もしくはアパート等	
主な費用	APU 授業料・寮費・食費・生活費・テキスト代・ビザ取得費・往復渡航費用・海外旅行保険費用・危機管理システム(J-TAS)費用・その他雑費	

※留学時期、留学期間、派遣学生数は、協定大学との派遣・受入人数のバランスや、その大学の学年暦によって決まります。

※2 回生編転入生は第 4 セメスターから出願できます。

※3 回生編転入生は出願できません。

選考方法

出願書類、学業成績、英語能力試験（IELTSTM/TOEFL[®]）のスコア、面接を中心に総合的に判断します。

面接は書類選考後必要と判断された場合のみ実施します。

<派遣までの流れ>

時 期	内 容
派遣内定後	APUより派遣先大学へ推薦
派遣の約4ヶ月前	派遣先大学へ申請書提出
派遣の約3ヶ月前	派遣先大学より受入れ許可書受領 ビザ申請・入寮申請・健康保険加入等
派遣の約2ヶ月前	渡航手続開始

留学終了後の単位認定

全カリキュラム共通

- 留学先での単位は、在学中のすべての単位認定を含め60単位を上限として認定を行います。
- 留学先の正規課程において修得した科目のみ単位認定を行います。
- 留学先で履修した科目の単位を認定するために、本人からの申請に基づき、各学部及び教育学部が審査を行い、単位認定の判断を行います。単位認定が可能な場合、単位認定願、留学先大学の成績証明書・その他の必要な書類を提出した場合のみ、単位が認定されます。
- APUの開講科目と全く関連性の無いもの（体育・芸術など）の単位認定は原則として行いません。
- 留学先で履修した科目の単位がAPUの科目名で認定された場合、その科目はそれ以後APUで履修することはできません。
- 交換留学先で修得した科目の成績評価は、「T（認定）」とします。

2017年度カリキュラム

- APMの学生はAACSB、EQUIS、EPAS等の認証を受けている大学に留学することを強く推奨します。上記の認証を受けている大学に留学した場合、APM専門教育科目として単位認定が可能な場合があります。それ以外の大学に留学した場合、APM専門教育科目として認定されるとは限りません。

個別合意に基づく留学

個別合意に基づく留学とは、APUが協定等に基づき提供する留学プログラムではなく、学生自身が留学を希望する大学から直接受け入れ許可を得て、それを審査のうえ、「留学」と認める制度です。留学と認められるためには、以下の要件を満たす必要があります。

- 正規課程への入学であること（期間は6ヶ月以上）。
- 留学先での学修が、学生の教育上、有益と認められること。
- 本学と留学先大学が学生の留学に関して合意ができること。
- 留学先大学のある国／地域の国籍を所持していないこと。申請者が留学先大学のある国／地域の国籍を所持している場合には、中学生以後（G7以後）においてその国／地域での学習歴が4年未満であること。

※その他詳細はアカデミック・オフィスに確認してください。

6.3 交換留学(国内)

立命館大学・国際教養大学交換留学プログラム（半年または1年）

国内留学プログラムでは、立命館大学（RU）、国際教養大学（AIU）の2大学で学ぶことができます。APUと比較して、立命館大学（RU）は9つの学部があり、APUにはない専門知識を深めることができます（実際には16学部ありますが、募集しているのは9つの学部です）。また、日本人学生の割合が高いという特徴もあります。

一方、国際教養大学（AIU）は少人数授業を多く開講し、授業は全て英語で行われます。特定の専門分野の深い知識を身に付ける専門教育とは異なり、状況に応じて適切な判断が下せる多角的な視点を身に付けることを目的とした教養教育が展開されています。

自分の興味関心に合わせ、より自身の体験や学びを深めることができるプログラムを選択し、参加してください。募集時期など、詳細についてはOff-Campus Study Programウェブサイトの国内交換留学ページを確認してください。

留学先大学・学部

留学先大学	学部	キャンパス	派遣人数	派遣期間
立命館大学（RU）	法学部 産業社会学部 国際関係学部 文学部	衣笠キャンパス (KIC:京都府京都市)	年間 30名 程度	春派遣：1 セメスターまたは 1 年間 秋派遣：1 セメスター
	経済学部 理工学部 スポーツ健康科学部	びわこ・さつキャンパス (BKC:滋賀県草津市)		
	政策科学部 経営学部	大阪いばらきキャンパス (OIC:大阪府茨木市)		
国際教養大学（AIU）	国際教養学部	国際教養大学 (AIU:秋田県秋田市)	年間 10名 程度	春派遣：1 セメスターまたは 1 年間 秋派遣：1 セメスターまたは 1 年間

出願資格

- 3～6 セメスター生（留学時 4～7 セメスター）
- 修得単位数：出願の前セメスター×14単位以上
- 成績：通算 GPA が 2.50 以上
- 言語運用能力：RU＝十分な日本語能力が必要（「日本語上級」終了程度）

AIU＝TOEFL® Test 500点以上（TOEFL ITP® Test 可）

※早期卒業プログラムに登録している学生を含め、最終セメスターに留学することはできません。

※3 回生編入生は出願できません。2 回生編入生は第 4 セメスターから出願できます。

※理工学部については専門学修に必要な学力を有する者とし、別途選考を行います。

奨学金の取り扱い（国際学生対象）

APUで学費減免の適用を受けている者は、原則として留学中においても学費減免の適用を受けることができます（留学中の学籍状態は「留学」となります）。

奨学金に関する詳細は、各自でスチューデント・オフィスに問い合わせてください。

ガイダンス

秋派遣ガイダンスを4月、春派遣ガイダンスを10月に行います。上記プログラムに関心がある学生は、出席してください。

国際教養大学 冬期留学プログラム

1月～3月までの3ヶ月間国際教養大学の「冬期プログラム科目」を履修し、単位を修得することができるプログラムです。出願資格は、国際教養大学交換留学プログラムと同様です。詳細は、上記4月のガイダンスの際にお知らせします。冬期留学プログラムは国内留学（秋 semester 開始若しくは1年間）と合わせての参加のみが可能です。単独での参加はできません。

立命館大学 夏セッション留学プログラム

8月下旬から9月上旬ごろに1週間単位で開講される立命館大学の「夏期集中講義」を履修し、単位を修得することができるプログラムです。詳細は、5月中旬にアカデミック・オフィスウェブサイト上发表します。申請を行う場合は、187～189ページ「国内他大学での修得単位認定プログラム」を確認してください。

【注意】

79ページ「2017年度カリキュラム適用 単位認定制度について」も併せて確認してください。

6.4 ダブルディグリープログラム

ダブルディグリープログラムは、APUの学生が、APUの2年間と留学先大学での2年間、合計4年間の学修を行い、両大学の学位取得が可能となるプログラムです。両大学の卒業要件を満たす必要があるため、履修できる科目が限定されます。学生は、選択したダブルディグリープログラムの要件を満たせるように、具体的な学習計画を立てる必要があります。

以下は、本学が実施するダブルディグリープログラムの概要です。ただし、内容は個々の留学先で異なりますので、各プログラムの募集ガイダンスを適宜開催し、プログラムの具体的な内容を伝えています。興味のある学生はOff-campus Study Programsウェブサイトのダブルディグリープログラムページを確認の上、募集ガイダンスに参加してください。

6.4.1 アジア太平洋学部 (APS) のダブルディグリープログラム

セント・エドワーズ大学（アメリカ）とのダブルディグリープログラム

留学期間	2 年間 【春入学者】2 ～ 5 セメスター（第 1 クォーターまで） 【秋入学者】3 ～ 6 セメスター（第 1 クォーターまで）
受入学部	School of Behavioral and Social Sciences (Global Studies)
募集時期	3 月上旬～中旬
申請資格 ※	2022年秋派遣の場合 ・アジア太平洋学部に所属する2021年度秋入学および2022年度春入学の1 回生 ・言語基準や国内学生、国際学生は問わない ・2021年秋入学者のみ：第 1 セメスターの通算GPAが3.00以上、修得単位数が14単位以上である者 ・申請時に以下のいずれかの言語条件を満たす者 IELTS™ 5.5、TOEFL iBT® Test 71点、TOEFL® PBT Test または TOEFL ITP® Test 525点、TOEIC® L&R TEST(IP) 700点、英検準 1 級 以上
選考方法	書類選考および面接
募集人数	5 名程度
プログラム 内定者への 言語条件	内定者は、出発前に以下の言語条件を満たさなければなりません。 TOEFL ITP® Test 550、TOEFL iBT® Test 79、IELTS™ 6.0

※主なものを記載しています。詳細は募集要項で確認してください。

また、別に派遣前に満たすべき要件があります。

ガルツブルク応用科学大学（オーストリア）とのダブルディグリープログラム

留学期間	2年間 3 ～ 6 セメスター
受入学部	Department of Innovation and Management in Tourism
募集時期	6月上旬～中旬
申請資格 ※	2023年春派遣の場合 ・アジア太平洋学部 ^{たいへいようがくぶ} に所属する2022年度春入学 ^{ねんどはるにゅうがく} の1セメスター ^{かいせい} 回生 ・言語基準 ^{げんごきじゅん} や国内学生 ^{こくないがくせい} ・国際学生 ^{こくさいがくせい} は問わない ・申請時に以下のいずれかの言語条件 ^{げんごじょうけん} を満たす者 ^{もの} IELTS™ 5.5、TOEFL iBT® Test 71点、TOEFL® PBT Test または TOEFL ITP® Test 525点 以上
選考方法	書類選考および面接
募集人数	3名程度
プログラム 内定者への 言語条件	内定者は、出発前に以下の言語条件を満たさなければなりません。 TOEFL ITP® Test 550、TOEFL iBT® Test 79、IELTS™ 6.0

※主なものを記載しています。詳細は募集要項で確認してください。

また、別に派遣前に満たすべき要件があります。

6.4.2 国際経営学部 (APM) のダブルディグリープログラム

ネオマビジネススクール (フランス) とのダブルディグリープログラム

留学期間	2 年間 【春入学者】 2 ～ 5 セメスター 【秋入学者】 3 ～ 6 セメスター
受入学部	Centre d'Etudes Supérieures Européennes de Management (CESEM) 英語名称: School of European Higher Studies of Management
募集時期	3 月上旬～中旬
申請資格 ※	2022 年秋派遣の場合 ・国際経営学部 に所属する 2021 年度秋入学および 2022 年度春入学の 1 回生 ・言語基準や国内学生、国際学生は問わない ・2021 年秋入学者のみ: 第 1 セメスターの通算 GPA が 2.80 以上、修得単位数が 14 単位以上である者 ・申請時に以下のいずれかの言語条件を満たす者 IELTS™ 5.5、TOEFL iBT® Test 71 点、TOEFL® PBT Test または TOEFL iTP® Test 525 点、TOEIC® L&R TEST(IP) 700 点、英検準 1 級 以上
選考方法	書類選考および面接
募集人数	10 名程度
プログラム 内定者への 言語条件	内定者は、出発前に以下の言語条件を満たさなければなりません。 TOEFL ITP® Test 550、TOEFL iBT® Test 79、IELTS™ 6.0

※主なものを記載しています。詳細は募集要項で確認してください。

また、別に派遣前に満たすべき要件があります。

6.4.3 ダブルディグリープログラム共通事項

- 留学までの流れおよび単位認定の手続きは、交換留学 (海外) とほぼ同様となります。
- 留学期間中の学生の学籍は「留学」となり、留学期間は在学期間に参入されます (最短 4 年間での卒業が可能)。
- 募集人数は、留学先大学の派遣・受入人数のバランス等により、変更となることがあります。
- 学費は APU の授業料の納入が必要ですが、留学先大学との協定により、留学先大学の学費は免除されます。
- その他の主な費用は以下の通りです。
寮費 (または住居費)、食費やその他生活費、テキスト代、パスポート・ビザ取得費、渡航旅費、保険料、危機管理システム (J-TAS) 費用、その他雑費
- ダブルディグリープログラムに関する情報は、Off-Campus Study Programs ウェブサイトに掲載します。

6.5 海外短期サマープログラム・ウィンタープログラム

本プログラムは、本学の海外学生交換協定大学において行われる正規科目のサマープログラムおよびウィンタープログラムを受講するプログラムです。本学の海外学生交換協定大学で開講されているプログラムであれば、全てのプログラムに応募可能です。申請要件、プログラム内容、プログラム期間、開講言語、必要経費、取得可能単位、滞在場所等については各大学のウェブサイトを参考に各自で調べた上で学内申請を行ってください。留学期間中に修得した単位は、教学部での審査の上、認められた場合は本学の卒業に必要な単位として認定します。

詳細はOff-campus Study Programs ウェブサイトを確認してください。

